

# ミューオンg-2/EDM実験 - ミューオンに表れた矛盾とそれを解明する実験-

#### 2021年5月29日



齊藤 直人



三部 勉







#### 研究室メンバー













研究員

(名古屋大学)





2

齊藤 直人 教授

三部 勉 教授(6/1~)

飯沼 裕美 客員准教授 (茨城大)

博士課程



D3 (北京大)

松下 凌太 M2 (東大)



有留 翔一

M1 (東大)

**Youssef Taha** D1 (総研大)



小山 駿 M1 (東大)



# 素粒子標準理論を超えて



# 2021年4月8日のフェルミ国立研究所の発表

• 2021年4月8日午前0時(日本時間)、米国フェルミ国立研究所(FNAL, フェルミラボ)か らミューオン異常磁気能率(g-2)の測定結果が全世界に発表された



#### 解説記事 KEK素核研トピックス

実験・理論の研究者達が徹底解説!新物理発	APRIL 30, 2021
見を目指すミューオンg-2研究の最新情報	所要時間:約22分

<u>https://www2.kek.jp/ipns/ja/post/2021/04/20210430/</u> (KEKトップページからもたどれます。)



図1. 左から順に三部勉 准教授、石川明正 准教授、遠藤基 准教授。 / © KEK IPNS

4月7日午前10時(米国中部標準時)、アメリカのフェルミ国立加速器研究所(FNAL)から、素粒子物理学の分野で非常に重要となる実験結果が発表されました。ミューオン<sup>(注1)</sup>が持つ磁石の強さ(磁力)のうち、量子効果に起因するものをg-2(異常磁気能率)と呼びますが、ミューオンのg-2が、高精度で予想された標準理論の理論値よりも誤差の4.2倍大きい値を持つ、すなわち理論予想からずれていることがほぼ確定的という発表です。この結果が何を意味し、どのような発見に繋がるのか、そしてKEKのミューオンg-2研究について、実験と理論の研究者に熱く語ってもらいました。



Ω



ミュオンの異常磁気能率(g-2)とはミュオンがもつ磁気的性質の強さで、磁場に対するスピンの応答のうち、特に量子効果のみを抜き出したもの。

g-2に現れる量子効果は、粒子が仮想的 に出し入れされる効果である。全ての相 互作用(電磁気力・強い力・弱い力)と それらを感じる全ての粒子が加算的に足 し合わされる。

もし、未知の力や素粒子が存在すれば、 g-2の標準理論の予想からの差として現 れるはずである。





# ミュオンg-2の内訳

数値はPhys. Rep. 887 (2020) 1-166による 「×10<sup>-10</sup>」



電磁気力 強い力に 弱い力に **今回再確認された** によるもの よるもの よるもの <u>標準理論で説明で</u> きない部分

 $a_{\mu} = a_{\mu}(QED) + a_{\mu}(had) + a_{\mu}(weak) + a_{\mu}(BSM)$ 



Q



### 人類は素粒子標準理論の綻びを見つけたか?

#### ・ケース1 新しい物理法則(最もエキサイティング)

#### ・ケース2 標準理論の計算が間違い

#### ・ケース3 測定が間違い

Q

KEK50年



8



- ケース1 新しい物理法則(最もエキサイティング)
  - もし新しい物理法則が存在する場合、それに付随する未知の素粒子を示唆



ただし、g-2のズレだけからは<u>どれが正しい物理法則かわからない</u>。 他の情報が必要。 例 時間反転対称性の破れ(EDM)、フレーバー対称性(ミュオン-電子(COMET)、B中間子・タウ(Belle II))

J-PARC実験で測定

# g-2とEDM



電気双極子能率(EDM)とは粒子が持つ電気的性質の一つで、**時間反転対称性(T)、空間反転対称性(P)を同時に破る**。ミュオンg-2 に新物理が見えている場合、EDMを同時に測定すれば、<mark>新物理がT対称性・P対称性を破るのかどうか</mark>調べることができる。物質 優勢宇宙で必要とされる未発見のCP対称性の破れの理解にも重要

## 人類は素粒子標準理論の綻びを見つけたか?

- ・ケース2 標準理論の計算が間違い
  - これは最も考えにくいシナリオ
    - ・理由1 計算に理論的な仮説が不要
    - 理由2 膨大な実験データをインプットとして計算されている。つまり、 計算を間違えるためには、過去のたくさんの実験データが間違えていない といけない
    - 理由 3 世界の理論研究者によるクロスチェックをパス



**EXEK 202** 

・今後の進展

Q

KEK50年

- 計算機シミュレーションの高精度化に期待
- KEK Belle II実験の高精度データが重要なインプットに。





https://www-conf.kek.jp/muong-2theory

### 人類は素粒子標準理論の綻びを見つけたか?

- ・ケース3 測定が間違い
  - トップクラスの素粒子物理学者が20年かけて行ったとても難しい実験



独立手法による実験(J-PARC)の意義



. ....<u>g-2</u>

History of muon anomaly measurements and predictions



G. Venanzoni, CERN Seminar, 8 April 2021





#### ミューオンの磁気双極子能率の歳差運動



#### ブルックヘブン国立研究所 ミュオンg-2実験(1997-2001)

An

ミュオン蓄積磁石

崩壞陽電

検出器

B= 1.45 T

日本の貢献(KEK 名誉教授 山本 明先生、他)

- 特殊超伝導磁石"インフレクター"
- 日本製高純度鉄で製作された"磁石ポールピース"
- ・ 蓄積ビーム分布測定器

   <del>→全て今回のフェルミラボの実験でも使われている</del>

Photo courtesy of BNL E821

# フェルミ国立研究所 ミュオンg-2実験(2018-)

B= 1.45 T



Photo courtesy of Fermilab E989

# 大強度陽子加速器施設 J-PARC



### J-PARCの実験



小さいことは良いことか?

FNAL (直径14mの蓄積磁石) **J-PARC**(直径0.66m) 80 z [mm] (ppm) Y (mm) 30 1.0 鉛直方向 40 20 鉛直方向 0.5 10<del>-</del> 250 500 0.0 25 0 50 0 -10 -0.5 -20 0.250 -1.0 25 -30 -20 20 X (mm) 水平方向 -80 290 310 330 350 370 水平方向 r [mm] 約10倍の磁場 250 ppb/line 25 ppb/line ー様性を達成 **EXEK 202** Q KEK50年

磁場の一様性の比較

20

# 新しいミュオンビーム



## ミュオン冷却(世界初、J-PARC独自)



# ミュオンの高周波加速(世界初、J-PARC独自)



# 90 keVまでの 加速実証に成功!

production

Phys. Rev. Accel. Beams 21, 050101 (2018)



# これまでの成果

Prog. Theor. Exp. Phys. **2019**, 053C02



科研費 特別推進研究 採択 (2020-2025):陽電子飛跡検出器・磁場測定装置等の製作

スケジュール・マイルストーン データ収 最初の結 集開始 果発表 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 KEK 概算要求申請中 建設予算 表面ミュオ ★ Beam at H2 area ★ Beam at H1 area ンビーム 拡張建屋· 甃 ★ Final design 🗙 Completion 設備 需 ミュオン源 ★ Ionization test @S2 ★ Ionization test at H2 ★ 1 MeV acceleration@S2 ★ 210 MeV LINAC ★ 4.5 MeV@ H2 ★ 10 MeV ビーム入射・ **★** Completion of **†** muon injection 蓄積 electron injection test 蓄積磁石 ★ Instal ★ B-field probe **★** Shimming done ready 検出器 ★ Mass production ready Installation DAQ・ネット Ready ワーク データ解 Analysis software ready 析 25 Analysis environment ready

# 国際共同研究グループ







#### 日立シビックセンター(日立市)

・ エキスポセンターミニ企画展「ミューオンでまだ見ぬ宇宙の謎を解け!」(2019.7)

- 小学生向け科学教室「コマ・電磁石」
  - ・ 日立シビックセンター(2020.10)、多摩六都(2020.12)、学童クラブ「オークス船場」(2021.4)

Hiraki

28

学童クラブ(東海村)

• 2021年度 ひらめき☆ときめきサイエンス採択(下村) J-PARCでのビーム実習も。



KEK50年

- フェルミ国立研究所のミュオンg-2測定の結果発表により20年前の結果が再確認された。素粒子標準模型の 縦びが見え始めている。
- J-PARCでは、ミュオンを冷却・加速・小さな磁石に蓄 積する新しい方法により、
  - ① g-2のズレを検証し、20年来の未解決問題に終止符を打つ。
  - ② EDMを精密測定し、新物理法則の時間反転対称性を調べる。
- 2025年の実験開始を目指して準備を進めている。

